栗田和昌 議員

都市計画でトレーニングセンターの土地利用を

問 (1)市南部地域の港湾の現在と今後の動向を聞く。

(2)私が住むトレーニングセンター西端に15ｈａの空地があるが、都市計画策定において、この土地の利用を組み込んではどうか。

答 市長

(1)名古屋港の果たす役割、港湾設備の充実はまちづくりを考える上で最重要課題の一つと思う。

港湾の埋め立て計画は、弥富ふ頭の貯木場に約10・2ｈａが示されている。

上野町地内の県企業庁用地27ｈａを取得したイケア弥富物流センターは、第1期工事として物流施設が20年8月完成、9月に操業開始の見込みである。

2期、3期工事も全国展開予定の店舗との関連に伴い、着手すると聞いている。

同社の社員採用は約100人予定で、企業進出の支援および市民の雇用確保から、1月市広報で求人情報を発していきたい。

同社は中部・東海地区において店舗用地を探しており、できる限り情報を提供し、市として手伝いたい。

次に、名古屋港のコンテナ取扱量は増加傾向にあり、現行の2バース(＝船が着岸し、コンテナを積み降ろす施設)では限界に達しているので、関係機関に第3バース増設を要望している。

現行バースのコンテナ取扱量は84万個に達しており、1億円強の特別とん譲与税の収入がある。

港湾背後地の土地利用は、市総合計画や都市計画マスタープランに織り込んで考えていきたい。

◀工事の進むイケア弥富物流センター

競馬組合の考え方を聞きたい

(2)同センターにますます活躍してもらうことが大前提だと思うが、土地の有効活用は、管理者の県競馬組合から同センターに対する基本的な考えを聞かないと、どういう形で利用を進めていくかは協議しづらい。

大前提となる組合の考え方を聞きたいと思う。

桜小学校のマンモス化解消を

問 桜小学校のマンモス化解消と今後の対策について、11月13日の説明会は約400人が出席し、平島地区住民は新しい学校建設を望む声が多かった。

私も早くつくってもらいたいと思うが、建設まで期間がかかる。その間、桜小はどういう状況になるのか。

早期の環境整備を前提に努力する

答 市長

桜小マンモス化問題は、早く子どもたちの環境整備をしていかなければならないという前提の中で、今後も努力していく。